



地域の皆さんと一緒に

北部地域活性化推進協議会
会長 内藤 博人さん（金井島）

何もなければ、 何も変わらない

開成町北部地域は、都市計画やその他の規則によって、住宅建設等の開発行為が制限されています。それを不満に思う人もいるのは事実ですが、何もしなければ、状況は何も変わりません。制限がある中で、いかに暮らしやすい地域にできるか、魅力ある地域にできるか。こんな想いで2年間議論を重ねてきました。

協議会では北部地域の活性化策について議論し、国の「地方創生推進交付金」を申請・獲得することができました。この交付金を使い、瀬戸屋敷の改修や今後の整備を進めるほか、協議会傘下のプロジェクト部会では、「菜花」などの景観作物の作付けや、北部地域を周遊するスタンプラリー

の企画・実施など、瀬戸屋敷をはじめ、北部地域全体の資源を活用し活性化させるための様々な取組みを進めてきました。

見えてきた課題

一方で、まだまだ地域全体を巻き込んだ取組みになっっているとは言えません。地域に住む人々の想いは様々であり、一つの方向に向かっていくことの難しさも感じました。

一つひとつの取組みを重ね、ここに住む皆さんがどうすれば地域をもっと好きになれるか、暮らしやすい環境を整えることができれば、引き続き皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

特集 開成町北部地域活性化

残したい風景

産業振興課 ☎84-0317

訪れる人を魅了する景色

町の北部地域には、一面に広がる田園の緑とあじさいの色のコントラスト、豊かな水が流れる水路、趣のある古民家など、訪れる人を魅了する景色がいくつもあります。

また、北部地域は、町のあゆみや人々の営みを伝える大切な歴史資源でもあります。都心からほど良い距離にあり、利便性の高い都市型の生活のすぐそばに、こうした景色が広がっていることも、町の大切な資源であり、大きな魅力となっています。

地域を守っていくために

一方で、北部地域は、原風景の要である田畑を守る農業の担い手の高齢化・次世代育成といった課題やどのように地域の活力を創出し、持続的発展をめざしていくかといった課題を抱えてきました。

こうした課題に対し、町では「北部地域活性化推進協議会」を設置し、大切な町の資源であり、財産でもある北部地域を次世代にどのように引き継いでいくかを町民の皆さんと一緒に考えてきました。

例えば、北部地域で採れた農産物やその加工品を、瀬戸屋敷を訪れた人が手に取り、買うことで、目に見える形で消費が生まれます。こうした交流が農業者のやりがいにつながり、次世代の担い手が地域農業に目を向けるきっかけとなるのではないかと。そのため、瀬戸屋敷を拠点とした北部地域の魅力向上によって訪れる人を増やす必要があります。

みんなが一体となって

北部地域の魅力をさらに向上させるためには、地域住民、民間事業者、町それぞれが力や知恵を出し合い、一体となって取り組んでいくことが必要です。

今月は、北部地域の魅力向上に向けて取り組む皆さんを紹介합니다。